

令和5年度（第15期第9回）小平市廃棄物減量等推進審議会 会議要録

1 日時

令和6年2月19日（月） 午後3時～午後4時

2 場所

小平・村山・大和衛生組合 3F 会議室

3 出席者

○小平市廃棄物減量等推進審議会委員 17名

山谷修作会長、渡辺浩平副会長、青野敬吾委員、浅野薫委員、出雲崎暁子委員、伊東恵美委員、太田佳子委員、岸野好江委員、木村源一委員、先山厚子委員、下條隆久委員、武田直子委員、丹治由紀子委員、内藤新司委員、茂木勉委員、林周子委員、吉浦高志委員

（欠席）山倉尚委員

○事務局 6名

環境部長、資源循環課長、資源循環課長補佐、資源循環課推進担当係長、資源循環課推進担当2名

4 傍聴者

0名

5 議事

小平市一般廃棄物処理基本計画に定める重点施策の推進について（答申）（案）

6 配付資料

小平市一般廃棄物処理基本計画に定める重点施策の推進について（答申）（案）

リサイクルきゃらばん実施報告

大人の社会科見学 in リサイクルセンター実施報告

小平市災害廃棄物処理マニュアル（案）

資料1

資料2

資料3

事前配付

7 内容

<議事>

- ・小平市一般廃棄物処理基本計画に定める重点施策の推進について（答申）（案）

（事務局）

資料1について、答申(案)の内容を説明。

（山谷会長）

委員の意見を伺いたい。

（先山委員）

答申(案)の2(2)にある、「行政によるフードドライブの…」とあるが、「行政や民間によるフードドライブの…」と変更できないか。コンビニエンスストアやスーパーなど、民間のフードドライブも増えてきている。

（茂木委員）

いなげやでは当初立川市の2店舗でフードドライブを開始した。現在は小平市の一部の店舗でも開始しており、今後も広がっていくのみられる。

（山谷会長）

民間でのフードドライブの動きを広がっているようなので、「民間」という文言を追加したい。事務局側としても問題ないか。

（事務局）

答申(案)の3(2)に「自治会などの団体が行うフードドライブ活動への支援」とあるが、このようなニュアンスを答申(案)の2(2)に追記するということによろしいか。

（渡辺副会長）

答申(案)の3(2)は、「自治会や民間などの団体が行う…」という表記でよいのではないか。

（事務局）

「自治会など民間団体が行う…」という表記に変更する。

（渡辺副会長）

答申(案)の2(2)も併せて表記の変更をお願いする。

（山谷会長）

ただいまの意見を踏まえて、見直しを行う。

（浅野委員）

答申(案)の2(2)の最後の行に「●」のみあるが、内容の記載漏れなのか、余分に「●」を打ってあるのか。

（事務局）

余分に打っているため、削除する。

(先山委員)

2 ページ目の 4 行目に「食物資源処理機器購入費補助金などの活用」とあるが、食物資源循環事業も削減効果が大きいのと思うので追記できないか。

(事務局)

先山委員にいただいたご意見は、基本方針 2 と基本方針 3 にまたがっている事業のため、書き方については調整したい。

(山谷会長)

具体的な取組みについては、答申(案)の 3 に列挙する方針で答申(案)の見直しを行った。したがって、処理機購入費補助金と限定する書き方ではなく、食物資源循環事業も含めることができるような書き方に見直しをさせていただく。

答申(案)の 3 (3)に「事業系廃棄物を対象とした定期的な展開検査の…」とあるが、「定期的」ではなく、「抜き打ち」とした方が良い。

<報告>

(事務局)

リサイクルきゃらばん、大人の社会科見学について報告。

小平市災害廃棄物処理対応マニュアル(案)について説明。

(渡辺副会長)

大人の社会科見学は定期的開催しているのか。

(事務局)

今年で 2 回目の開催となる。もともと小学生向けの「バックヤードツアー」を開催していたが、大人向けのイベントが無かったので昨年初めて開催し、大変好評であったため、今年も開催した。

(先山委員)

災害廃棄物処理対応マニュアル(案)を見たが、発災時のごみ量や処理の所要期間などの試算は行っているのか。

(事務局)

一般廃棄物処理基本計画の第 7 章に災害廃棄物処理の計画があり、小平市で想定される最も大規模な被害(多摩東部直下型地震)では、災害廃棄物発生量の合計を 31 万 t と見込んでいる。災害後は、片付けごみ・解体ごみという順に出てくるものと思われる。発災時は、見込み量を基に、処理施設と調整を行い、処理していく。

(先山委員)

市だけでは処理ができないものは国や都に依頼するなど、計画を立てておくのが必要だと思う。

(発言者不明)

小矢部市と協定を締結しているようだが、今回の地震でも応援に行ったのか。

(事務局)

防災危機管理課が協定に基づき、ブルーシートを200枚現地に持って行った。

(浅野委員)

マニュアル33ページ図表6-5有害・危険製品注意事項にURLが貼ってあるが、災害時は端末等で見るようになるのか。

(事務局)

今年度中にマニュアルが完成する予定なので、ホームページに掲載して市民や応援に来ていただける人への周知を図る。また、小平市役所内でも紙ベースでの保管が安全策となると思うが、インターネット環境が復旧次第、インターネットでも見られるようにしていきたい。

(下條委員)

11ページ(7)①に総務班があるが、災害時に発生する盗難などに対する監視システムを入れる必要があると思う。

(事務局)

本マニュアルは災害廃棄物処理に関するマニュアルのため、盗難の発生など災害時の全体的な対応に関しては防災危機管理課が担当している。

(渡辺副会長)

もともと使用していた市の集積所が災害廃棄物の置場になりかねないので、そういった事象への監視と指導が割り振られているのか気になった。また、仮置場はどのくらいの数設置する予定なのか。

(事務局)

仮置場の候補地の選定を進めているところである。公園やグラウンドなど、一定の面積を確保できる公共施設を中心に検討している。

(青野委員)

小平市には3万ほどの木造家屋があるようだが、古い家屋はどのくらいあるのか。また、多くの人員を確保する必要があるが、そういったシミュレーションをしているのか。

(事務局)

古い耐震基準で建築された木造住宅がどのくらいあるかは正確に把握していないが、国が行う調査の中では10,000戸くらいであったと記憶している。市の職員は1,000人弱となっており、地域防災計画の中では各部課に災害時の役割が割り振られている。

(吉浦委員)

10ページの災害支援協定リストに東多摩再資源化事業協同組合があるが、実際の災害時に何をどのように動くかについて、年1回など定期的にアクションを起こした方が良いのではな

いかと思う。能登の震災でも支援に行きたいと申し込んだが、受け入れ態勢が整っていないと
のことで断られてしまった。

(事務局)

協定締結以来、年月が経過しているものもある。今後は、協定の内容を詳細かつ具体的に詰
めていきたい。